

# 北一本木自治会

## 自治会の活動

北一本木自治会は、大川・東門・商店街・南北正門・しゃくなげ地域に区分された下部自治会があり、そちらでの活動が主となっている。北一本木自治会が後援という形で、各々、懇親会や防災訓練、交通安全教室等を行う。例えば、東門自治会の防災訓練では講話やAEDの使い方、避難訓練、消火訓練などに取り組み、大川自治会では盆踊りを行っている。草刈りなどの環境美化活動も各下部自治会で日にちを決めて取り組んでいる。



消防訓練

## 高齢者のための事業

同自治会では敬老会を行っていないが、お年寄りを大切にしたいという気持ちから、毎年、敬老者に祝い品を贈っている。70歳以上の対象者100名以上に各下部自治会長、事務局が分担して、訪問している。

また、平成22年度から始めたいいきサロンは、大川公民館で行っており、ラジオ体操、歌、輪投げのほか、秋祭りに向けて日本舞踊の練習なども取り組み、高齢者の交流の場となっている。

## 3 自治会共同開催事業

一本木地区の北一本木・南一本木・いずみ菓子ニュータウンの3自治会は人口減少等から共同開催で事業に取り組んでいるものがある。

北部コミセン祭りは1年ごとの持ち回りでそれぞれの自治会が中心となって屋台を出す。

運動会は一本木小中学校で実施。役員の負担や単会行事と重なったことから令和3年に幕を閉じたが、今後は一本木秋祭りを世代間交流の場として大切にしていく。

一本木秋祭りでは、保育園児によるお遊戯、子ども会の子ども神輿、中学生によるさんさ踊りを披露。祭りの屋台は福祉施設のみやま寮や地域の有志、消防団等に協力をお願いしている。

防犯は一本木防犯交通安全協会として活動。スクールガードとして毎日のパトロールのほか、平成28年は北一本木自治会が鍵かけモデル地区に指定され、各戸に啓発ステッカーの配布や呼びかけを行った。



北部コミセン祭

## 今後の取り組み

後継者不足が課題。役員任期は2年だが続投している役員が多い。PTAを巻き込んだ自治会活動など、工夫して取り組んでいきたい。



左から角掛勘次三氏(副会長)、北條勝英氏(事務局)、取材時撮影